



京都府立図書館 サービス計画

平成24年8月



京都府立図書館

Kyoto Prefectural Library
since 1898



目 次



第1章 はじめに	3
----------------	---

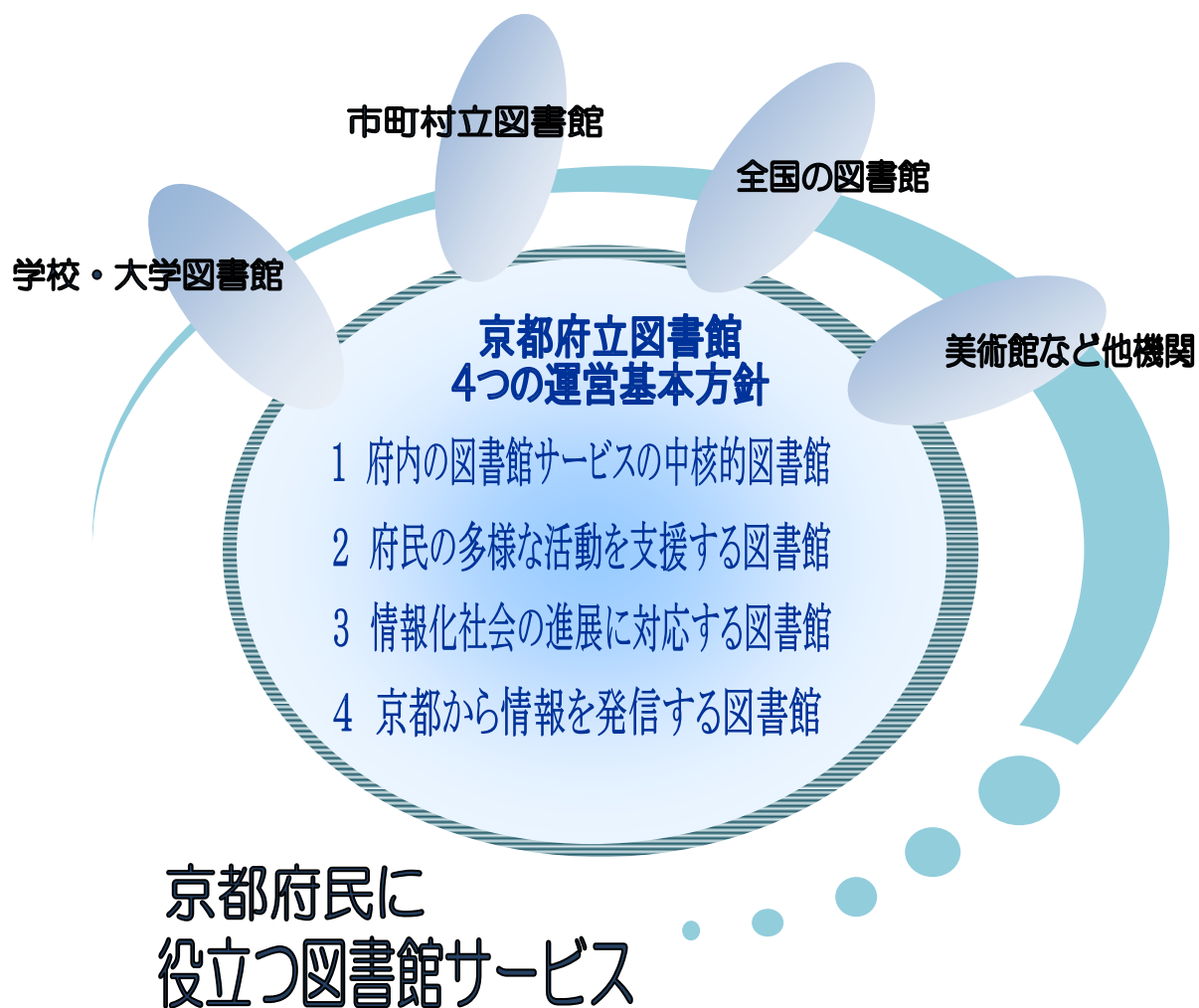


第2章 現状と課題及び今後の取組	4
1 府内の図書館サービスの中核的図書館	4
2 府民の多様な活動を支援する図書館	7
3 情報化社会の進展に対応する図書館	10
4 京都から情報を発信する図書館	11

【参考資料】

・用語の解説	12
・京都府立図書館サービス計画の取組内容一覧表	13
・利用者アンケート調査結果	15

全体像イメージ図



フローチャート図

現 状

課 題

4カ年プラン実施

4 つ の 運 営 基 本 方 針 … 各 項 目

第1章 はじめに

1 サービス計画作成の趣旨

京都府立図書館では、平成 19 年度に「京都府立図書館サービス向上プログラム」を作成し、計画的に図書館サービスの向上に努めてきましたが、計画の実施年度が平成 22 年度で終了したことから、今後の更なるサービス充実に向けて今回新たに「京都府立図書館サービス計画」を作成しました。

このサービス計画については、利用者アンケートや市町村立図書館・読書施設（以下「市町村立図書館等」という。）へのアンケート調査を実施し、府民の皆様のご意見を踏まえて作成を進めてきました。

なお、平成 20 年 6 月の図書館法の一部改正により、図書館の運営状況に関する評価等の項目が新たに追加されましたが、このサービス計画の施策を評価項目に設定し、計画を着実に実施することとしています。

2 サービス計画の実施期間

平成 24 年度～平成 27 年度

3 運営基本方針

平成 13 年の新館開館にあたって「京都府立図書館の運営基本方針」を作成しましたが、この間に生じた課題等を踏まえ、次のとおり運営基本方針の見直しを行いました。

(1) 府内の図書館サービスの中核的図書館として、図書館資料・情報の総合的な活用を図り、府全体の図書館サービスの充実を図ります。**（府内の図書館サービスの中核的図書館）**

- ・市町村立図書館等との役割分担を踏まえた資料・情報の収集を行い、府内公共図書館の資料保存センターとしての役割を果たします。
- ・市町村立図書館等と連携し、京都府図書館総合目録ネットワーク（※1）の活用などにより、府内全域に均質な図書館サービスを提供します。
- ・市町村立図書館等が行う図書館サービス充実に向けた取組を支援します。
- ・市町村立図書館等や学校等と連携し、子どもの読書活動の推進を支援します。

(2) 府民の暮らしや地域の発展に役立つ情報を提供し、府民の様々な活動を支援します。**（府民の多様な活動を支援する図書館）**

- ・府民の調査研究に役立つ資料・情報を提供します。
- ・府民の課題解決を支援するため、的確なレファレンス（調査相談）（※2）サービスを提供します。
- ・多様化する府民ニーズに応える図書館サービスを提供します。
- ・府民にとって利用しやすい施設づくりを進めます。

- (3) 情報通信技術を積極的に活用し、情報化の進展に対応した高度な情報サービスを提供します。**(情報化社会の進展に対応する図書館)**
- ・情報通信技術の発展に対応した情報サービスを提供します。
 - ・電子ネットワークを活用し、積極的に情報を発信します。
- (4) 京都の文化の創造と活性化に寄与するため、関係機関と連携して、京都府立図書館の特色を生かした情報を発信します。**(京都から情報を発信する図書館)**
- ・新施設の整備を進めている京都府立総合資料館等との連携により、京都らしさのある資料・情報を発信します。

第2章 現状と課題及び今後の取組

「京都府立図書館の運営基本方針」に沿って、施策の現状を踏まえながら課題を整理し、今後の取り組むべき内容を次のとおりまとめました。

1 府内の図書館サービスの中核的図書館

- 市町村立図書館等との役割分担を踏まえた資料・情報の収集を行い、府内公共図書館の資料保存センターとしての役割を果たします。

《現状》

- ① 京都府立図書館の資料収集方針に基づく資料の収集
- ・府民の調査研究の拠点及び生涯学習を支援する図書館としてふさわしい資料を収集
 - ・府内図書館ネットワークのセンターとして、府内の市町村立図書館等活動振興のための資料を収集
 - ・京都府立総合資料館が京都資料、歴史資料、美術資料、官庁資料に重点をおいた収集をしていることに鑑み、両館の機能を踏まえて資料を収集
- ② 府内公共図書館等の所蔵が1冊である図書について、市町村立図書館等での所蔵が困難となった場合、京都府立図書館に移管して保存

《課題》

- ① 府民の情報要求の高度化・多様化に対応することのできる資料の収集

《今後の取組・推進年次計画》

取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
資料収集方針に基づく的確な資料選定・収集	充 実		→	→	→
府内1冊所蔵資料のうち、京都府立図書館への移管・保存	継 続				→

(注) 「今後の取組・推進年次計画」の矢印は、——→ は「継続実施」、-----→ は「準備期間」、————→ は「重点的に取り組む期間」をそれぞれ示しています。

● 市町村立図書館等と連携し、京都府図書館総合目録ネットワークの活用などにより、府内全域に均質な図書館サービスを提供します。

《現状》

- ① 京都府図書館総合目録ネットワークにより、府内公共図書館等や京都学園大学の所蔵資料（図書・雑誌・新聞）を一括して検索
- ② 京都府図書館総合目録ネットワークの機能の活用と全市町村を巡回する連絡協力車（※3）の運行により、府内公共図書館間の迅速な資料等の相互貸借（※4）を実施
- ③ 市町村立図書館等が所蔵していない専門的な資料等について、京都府立図書館からの機関貸出（※5）と取寄せ申込みeサービス（※6）の実施
- ④ 京都府立図書館からまとまった図書を長期間貸し出すことにより、市町村立図書館等の活動を支援（貸出文庫）



《課題》

- ① 府内の大学図書館を含めた所蔵資料の一括検索ができるネットワークがない。



《今後の取組・推進年次計画》

取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
京都府図書館総合目録ネットワークの拡充（府内大学等との連携を検討）	充 実	-----→	————→	————→	————→

● 市町村立図書館等が行う図書館サービス充実に向けた取組を支援します。

《現状》

- ① 職員の資質向上のため、経験年数に応じた市町村立図書館等職員研修会を行うとともに、地域別に出前市町村立図書館等職員研修会を実施
- ② 京都府図書館総合目録ネットワークの機能を活用したレファレンスの実施
- ③ 連絡協力車に同乗して運営に関する相談に対して助言
- ④ ホームページで市町村立図書館等の行事の紹介



《課題》

- ① 一人職場の市町村立図書館等職員など研修に参加しにくい状況がある。
- ② 各市町村立図書館等で行われている子ども読書活動推進に係る取組や特色のある取組などの広報活動への支援
- ③ 地域の情報拠点となる市町村立図書館等への府政情報の提供

《今後の取組・推進年次計画》



取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
市町村立図書館等職員研修の充実(より体系的な研修内容の実施、研修の形態や方法の改善等を検討)	継 続	→			→
市町村立図書館等の案内の充実(館内における紹介コーナーの設置等)	充 実	-----→	→		→
府政情報を府民に周知するため、市町村立図書館等への府政情報提供の仲介	新 規	-----→	→		→

● 市町村立図書館等や学校等と連携し、子どもの読書活動の推進を支援します。

《現状》

- ①調べ学習等に役立つ図書をテーマ別にセットにして府内の学校に貸出(学校支援セット貸出)
- ②承認を受けた学校にまとめた資料の貸出(機関貸出)
- ③市町村立図書館等から遠い府立高校への連絡協力車の巡回
- ④読書活動を推進するため「子ども読書絵てがみコンテスト」を実施
- ⑤学校図書館からのレファレンスを実施



《課題》

- ①府立学校への連絡協力車の巡回体制の見直し
- ②学校支援セット貸出以外の当館所蔵資料を活用した来館型調べ学習への支援
- ③特別支援学校における読書活動への支援
- ④「子ども読書絵てがみコンテスト」は、実施から10年が経過し見直しが必要

《今後の取組・推進年次計画》



取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
府立学校への連絡協力車巡回の充実	充 実	-----→	→	→	→
調べ学習等の受入(高校生を対象に図書館活用講座の実施)	充 実	-----→	→		→
特別支援学校への資料の提供	新 規	-----→	→	→	→
子ども読書本のしおりコンテストの実施	新 規	→			→

2 府民の多様な活動を支援する図書館

● 府民の調査研究に役立つ資料・情報を提供します。

《現状》

- ①各分野の基本図書、専門書、資料集、逐次刊行物等の収集・提供
- ②新聞記事のマイクロフィルムや各種オンラインデータベースでの情報提供
- ③源氏物語、日本映画などテーマ別に所蔵資料をチラシで紹介したり、調べ物に役立つリンク集をホームページで提供
- ④館内展示コーナーでの特定テーマについての所蔵資料を展示



《課題》

- ①興味関心の高い時事問題に関する資料・情報の迅速な提供
- ②課題解決に役立つ京都府立図書館の活用方法を分かりやすく提供
- ③特定テーマについて、様々なツールを用いて自ら調べる方法への支援強化
- ④各種オンラインデータベース等、マルチメディア閲覧室の利活用の促進



《今後の取組・推進年次計画》

取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
京都府立図書館所蔵資料を紹介する展示の充実やチラシの提供	充 実	→			→
各種当館利用案内や、資料の調べ方などを記載したチラシの提供	充 実	→			→
図書館活用講座の実施(OPACの使い方、データベースの使い方、雑誌記事・論文の探し方等)	新 規	→			→
ホームページへの各種図書館活用講座手引の掲載	新 規	→			→
特定テーマについて文献・情報の探し方・調べ方を提供するツール(パスファインダー)の作成	新 規		-----→	→	→
府内大学・企業への広報(マルチメディア閲覧室の利用促進)	新 規	→			→

● 府民の課題解決を支援するため、的確なレファレンスサービスを提供します。

《現状》

- ①来館者だけでなく電話、FAX、郵便によってもレファレンスを実施
- ②ホームページにレファレンス総合案内を掲載し、電子メールによるレファレンスを実施



《課題》

- ①京都府の行政機関に対するレファレンスサービスへの理解促進



《今後の取組・推進年次計画》

取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
府の行政機関への京都府立図書館のレファレンスサービスの周知と提供	新 規	----->	—————>	—————>	—————>

● 多様化する府民ニーズに応える図書館サービスを提供します。

《現状》

- ①京都府立医科大学、京都府立総合資料館との連携により府民講演会を開催
- ②対面朗読の実施、音声資料・大活字本などの提供により視覚障害者サービスを実施
- ③音声資料の利活用を促進するため音声目録 CD-ROM（デイジー版）（※7）を作成・配布



《課題》

- ①幅広い分野の府民講演会等の実施による生涯学習への支援
- ②視覚障害者サービス対象者の拡大等著作権法改正への対応



《今後の取組・推進年次計画》

取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
京都大学研究者等と連携したサイエンスイベント（※8）等の取組の実施	充 実	—————>	—————>	—————>	—————>
視覚障害者サービスの対象者の拡大と録音図書の作成	新 規	----->	—————>	—————>	—————>

● 府民にとって利用しやすい施設づくりを進めます。

《現状》

- ①初めて利用する方のために案内板やチラシを設置
- ②歩行が不自由な方のために車椅子使用者用のトイレ、車椅子用閲覧席等を設置
- ③視覚障害者のために拡大読書器や音声読書機、音声化ソフト対応インターネット閲覧端末を設置
- ④毎月第3水曜日に館内見学会を実施
- ⑤平成23年度から祝日開館を実施
- ⑥システム更新を5年ごとに実施(次回は平成27年度実施予定)
- ⑦建物は、法律上の制限から増築を行うことが困難



《課題》

- ①所蔵資料の利用案内など、利用者により分かりやすい館内・館外案内表示
- ②より利用しやすい設備の整備
- ③図書返却について利便性の向上



《今後の取組・推進年次計画》

取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
利用者に分かりやすい館内・館外の案内表示・掲示の改善	充 実	→	→	→	→
京都市立芸術大学と連携し、京都府立図書館の認知度を高める総合的なデザインを検討	新 規	→	→	→	→
利用者の利便性向上のための設備充実(パソコン電源の設置など)	充 実	→	→	→	→
自動音声サービスによる貸出延長の検討	新 規		→	→	→
市町村立図書館等との相互返却サービスの検討	新 規		→	→	→

3 情報化社会の進展に対応する図書館

● 情報通信技術の発展に対応した情報サービスを提供します。

《現状》

- ① 京都府図書館総合目録ネットワークによる自宅からの府内公共図書館等の蔵書検索
- ② CD-ROM、DVD 等の音声映像資料の提供。インターネットや新聞記事、雑誌記事、科学技術文献、法・判例、官報情報のオンラインデータベースの閲覧
- ③ 貸出状況の確認・延長、貸出待ち登録、新着図書お知らせサービス等のインターネットによるサービス



《課題》

- ① 視覚障害者や印刷物を読むことが困難な方のためのマルチメディアデージー（※9）の充実や新しい媒体である電子書籍の提供の検討
- ② 来館が難しい方への情報サービス提供



《今後の取組・推進年次計画》

取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
マルチメディアデージー等提供できる資料の充実	新 規		---	→	→
電子書籍サービスの検討	新 規	---	---	→	→

● 電子ネットワークを活用し、積極的に情報を発信します。

《現状》

- ① ホームページに音声読み上げ、文字拡大や英語・中国語・ハングルに対応する機能を整備
- ② ホームページで新着雑誌記事速報やテーマ別の所蔵資料等を紹介



《課題》

- ① 京都府立図書館の魅力を視覚的にアピールするため、現在文字による構成が中心となっているホームページへの画像資料の活用
- ② 情報メディアの多様化に対応した様々な電子ツールを活用した情報発信



《今後の取組・推進年次計画》

取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
ホームページにバーチャル館内ツアーを掲載	新 規	→			→
ホームページに駅からの道順、周辺観光案内等を画像資料で紹介	新 規	---	→		→
ソーシャル・ネットワーキング・サービス（※10）等の電子ツールによる情報発信	新 規	---	→		→

4 京都から情報を発信する図書館

- 新施設の整備を進めている京都府立総合資料館等との連携により、京都らしさのある資料・情報を発信します。

《現状》

- ①京都に関する資料の重点的収集と小展示による所蔵資料の紹介
- ②京都コーナーや源氏物語コーナーの設置
- ③京都府立総合資料館所蔵の貴重書のデータベース化とインターネットによる閲覧
- ④近隣美術館の展覧会と連携した所蔵資料の紹介
- ⑤教科書コレクション等の活用



《課題》

- ①文化施設が集積している立地条件を生かした利用者ニーズへのより一層の対応
- ②年間500万人の観光客が訪れる岡崎地域の活性化事業と連携した取組
- ③京都府立総合資料館と連携した京都に関する情報提供の充実
- ④劣化のおそれのある昭和30年代の日本映画のシナリオ等、価値ある所蔵資料の保存・活用



《今後の取組・推進年次計画》

取 組 内 容	区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
京都の地域情報の案内に役立つ資料展示コーナーの設置	新 規	→	→	→	→
京都府立図書館のロゴやしおり、ポストカード等を作成し、周辺施設等に設置	新 規	→	→	→	→
岡崎地域イベントと連携した館内見学会やパネル展示の実施	新 規	→	→	→	→
京都府観光連盟等と連携し、府内観光パンフレットを設置	新 規	→	→	→	→
価値ある所蔵資料の紹介とアーカイブ化	新 規	→	→	→	→
京都府立総合資料館と連携し、京都に関する情報検索ツールの作成や「京都の調べ方講座」を開催	新 規	→	→	→	→

〈用語の解説〉

※1 京都府図書館総合目録ネットワーク（3頁）

京都府立図書館と京都府立総合資料館、市町村立図書館等、大学図書館をネットワークで接続し、各館が所蔵する目録をデータベース化することにより、総合的な検索を可能にし、相互の図書の貸借や情報交換、レファレンスを行う仕組。インターネット上からも図書の検索ができる。

※2 レファレンス（3頁）

相談等に対して必要な資料や情報を探す手助けをしたり、資料や情報を提供したりする業務のこと。京都府立図書館ではホームページに「レファレンス（調査・相談）」コーナーを設け、平成15年3月から電子メールでも相談できるようになっている。

※3 連絡協力車（5頁）

市町村立図書館等の取組を支援するため、全市町村を毎週1回巡回し、京都府図書館総合目録ネットワークにより貸し借りされる図書の運搬等を行う。

※4 相互貸借（5頁）

図書館同士が所蔵している資料の貸し借りをする。自館に所蔵がない資料を利用者から求められた場合、他館に所蔵があれば借り受けて利用者に提供する。

※5 機関貸出（5頁）

図書館活動を支援するため、市町村立図書館等や学校図書館が所蔵していない資料等について、京都府立図書館の資料等を貸出すこと

※6 取寄せ申込みeサービス（5頁）

市町村立図書館等が所蔵していない図書について、京都府立図書館に所蔵がある場合、取寄せをインターネットで申込みできるサービス

※7 音声目録CD-ROM（デイジー版）（8頁）

「デイジー」とは、視覚障害者向けに製作するデジタル録音図書の国際標準規格。京都府立図書館では、所蔵しているデイジー資料などについて、音声で聞くことのできるCD-ROM版の目録を作成し、府立盲学校や市町村立図書館等に配布している。

※8 サイエンスイベント（8頁）

科学の魅力、不思議などに触れることを通して、一般の方々に科学への理解を深めようとするイベント。京都府立図書館では、特定のテーマについて研究者から話を聞いた後、テーマについてイメージした本を閲覧室で探して持ち寄り、みんなで話し合う「サイエンス×ビブリオ ワークショップ」を開催

※9 マルチメディアデイジー（10頁）

音声デイジーが進化したもので、音声とその部分の文字や画像等が同時に再生され、視覚と聴覚の両方から情報を得ることができる。

※10 ソーシャル・ネットワーキング・サービス（10頁）

人と人とのつながりを促進・サポートする社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービス。Twitter(ツイッター)、mixi(ミクシィ)、GREE(グリー)、Facebook(フェイスブック)、Myspace(マイスペース)などがある。

京都府立図書館サービス計画の取組内容一覧表

運営基本方針		取組内容	区分	工程表			
				24年度	25年度	26年度	27年度
1 府内の図書館サービスの中核的図書館	市町村立図書館等との役割分担を踏まえた資料・情報の収集を行い、府内公共図書館の資料保存センターとしての役割を担当	資料収集方針に基づく的確な資料選定・収集	充実		→	→	→
		府内1冊所蔵資料のうち、京都府立図書館への移管・保存	継続				→
	市町村立図書館等と連携し、府内全域に均質な図書館サービスを提供	京都府図書館総合目録ネットワークの拡充（府内大学等との連携を検討）	充実	-----	→	→	→
	市町村立図書館等が行う図書館サービス充実に向けた取組を支援	市町村立図書館等職員研修の充実（より体系的な研修内容の実施、研修の形態や方法等の改善を検討）	継続	→			→
		市町村立図書館等の案内の充実（館内における紹介コーナーの設置等）	充実	-----	→	→	→
		府政情報を府民に周知するため、市町村立図書館等への府政情報提供の仲介	新規	-----	→	→	→
	市町村立図書館等や学校等と連携し、子どもの読書活動の推進を支援	府立学校への連絡協力車巡回の充実	充実	-----	→	→	→
		調べ学習等の受入（高校生を対象に図書館活用講座の実施）	充実	-----	→	→	→
		特別支援学校への資料の提供	新規	-----	→	→	→
		子ども読書本のしおりコンテストの実施	新規	→			→
2 府民の多様な活動を支援する図書館	府民の調査研究に役立つ資料・情報を提供	京都府立図書館所蔵資料を紹介する展示の充実やチラシの提供	充実	→			→
		各種当館利用案内や、資料の調べ方などを記載したチラシの提供	充実	→			→
		図書館活用講座の実施（OPACの使い方、データベースの使い方、雑誌記事・論文の探し方等）	新規	→			→
		ホームページへの各種図書館活用講座手引の掲載	新規	→			→
		特定テーマについて文献・情報の探し方・調べ方を提供するツール（パスファインダー）の作成	新規		-----	→	→
		府内大学・企業への広報（マルチメディア閲覧室の利用促進等）	新規	→			→
	府民の課題解決を支援するため、的確なレファレンスサービスを提供	府の行政機関への京都府立図書館のレファレンスサービスの周知と提供	新規	-----	→	→	→
	多様化する府民ニーズに応える図書館サービスを提供	京都大学研究者等と連携したサイエンスイベント等の取組の実施	充実	→			→
		視覚障害者サービスの対象者の拡大と録音図書の作成	新規	-----	→	→	→

運営基本方針		取組内容	区分	工程表			
				24年度	25年度	26年度	27年度
	府民にとって利用しやすい施設づくりを推進	利用者にわかりやすい館内・館外の案内表示・掲示の改善	充実	→	→	→	→
		京都市立芸術大学と連携し、京都府立図書館の認知度を高める総合的なデザインを検討	新規	→	→	→	→
		利用者の利便性向上のための設備充実（パソコン電源の設置など）	充実	→	→	→	→
		自動音声サービスによる貸出延長の検討	新規		→	→	→
		市町村立図書館等との相互返却サービスの検討	新規		→	→	→
3 情報化社会の進展に対応する図書館	情報通信技術の発展に対応した情報サービスを提供	マルチメディアデジ等提供できる資料の充実	新規		→	→	→
		電子書籍サービスの検討	新規		→	→	→
	電子ネットワークを活用し、積極的に情報を発信	ホームページにバーチャル館内ツアーを掲載	新規	→	→	→	→
		ホームページに駅からの道順、周辺観光案内等を画像資料で紹介	新規	→	→	→	→
		ソーシャル・ネットワーキング・サービス等の電子ツールによる情報発信	新規	→	→	→	→
4 京都から情報を発信する図書館	京都府立総合資料館等との連携により、京都らしさのある資料・情報を発信	京都の地域情報の案内に役立つ資料展示コーナーの設置	新規	→	→	→	→
		京都府立図書館のロゴやしおり、ポストカード等を作成し、周辺施設等に設置	新規	→	→	→	→
		岡崎地域イベントと連携した館内見学会やパネル展示の実施	新規		→	→	→
		京都府観光連盟等と連携し、府内観光パンフレットを設置	新規	→	→	→	→
		価値ある所蔵資料の紹介とアーカイブ化	新規		→	→	→
		京都府立総合資料館と連携し、京都に関する情報検索ツールの作成や「京都の調べ方講座」を開催	新規		→	→	→

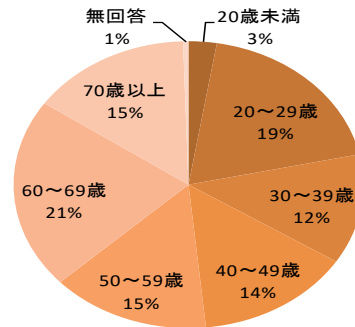
利用者アンケート調査結果

実施日：①12月21日（水）②12月24日（土）

集 計：計 736（実施日①回収/配付 407/562 実施日②回収/配付 329/487）

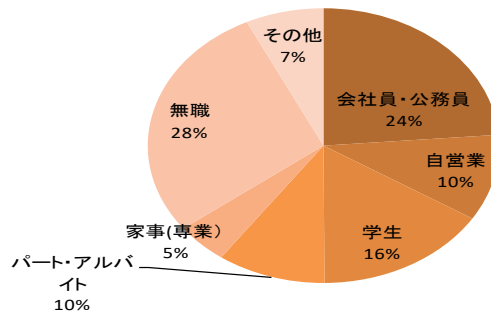
年 齢

20歳未満	3%
20～29歳	19%
30～39歳	12%
40～49歳	14%
50～59歳	15%
60～69歳	21%
70歳以上	15%
無回答	1%



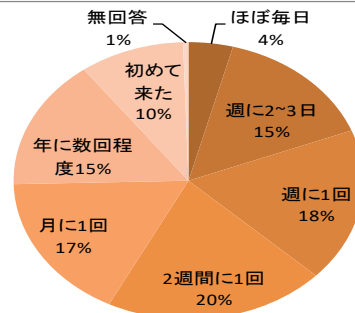
職 業

会社員・公務員	24%
自営業	10%
学生	16%
パート・アルバイト	10%
家事(専業)	5%
無職	28%
その他	7%



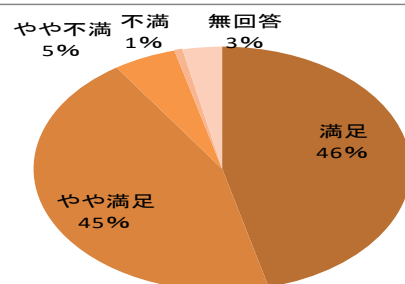
来館頻度

ほぼ毎日	4%
週に2～3日	15%
週に1回	18%
2週間に1回	20%
月に1回	17%
年に数回程度	15%
初めて来た	10%
無回答	1%



府立図書館のサービスに対する満足度

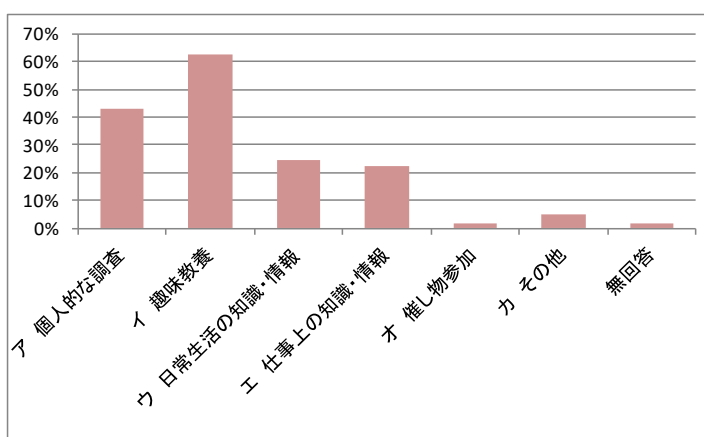
満足	46%
やや満足	45%
やや不満	5%
不満	1%
無回答	3%



*裏面白紙回答は、有効回答から除く。(有効回答者数 708 人)

来館目的 (複数回答可)

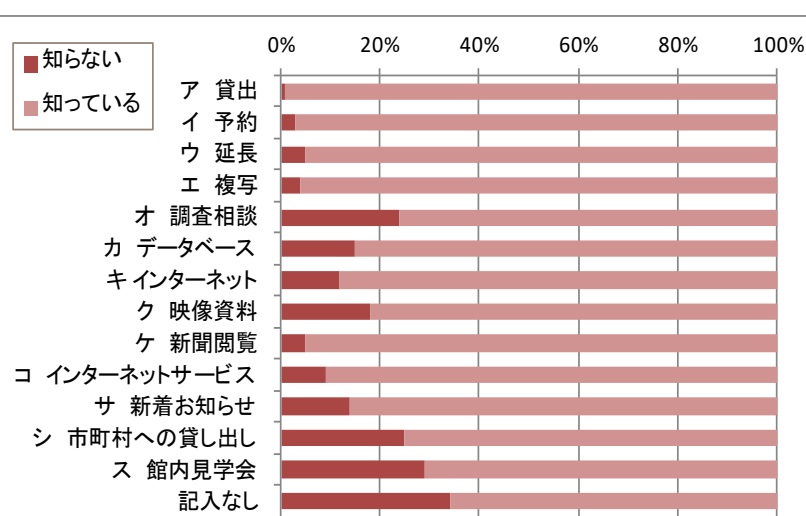
ア 個人的な調査	43%
イ 趣味教養	63%
ウ 日常生活の知識・情報	25%
エ 仕事上の知識・情報	22%
オ 催し物参加	2%
カ その他	5%
無回答	2%



*裏面白紙回答は、有効回答から除く。
(有効回答者数 708 人 回答数 1136 件)

知らないサービス (複数回答可)

ア 貸出	1%
イ 予約	3%
ウ 延長	5%
エ 複写	4%
オ 調査相談	24%
カ データベース	15%
キ インターネット	12%
ク 映像資料	18%
ケ 新聞閲覧	5%
コ インターネットサービス	9%
サ 新着お知らせ	14%
シ 市町村への貸し出し	25%
ス 館内見学会	29%
記入なし	34%

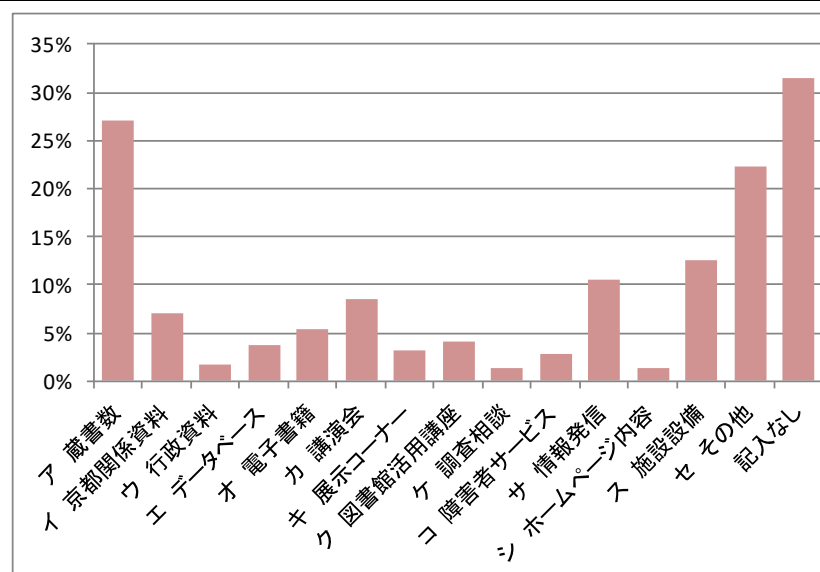


*裏面白紙回答、初めて来館した回答者は、有効回答から除く。(有効回答者数 642 人 回答数 1248 件)

*知らないサービスの項目に○をつける方法で調査

特に改善・充実すべきこと (複数回答可)

ア 蔵書数	27%
イ 京都関係資料	7%
ウ 行政資料	2%
エ データベース	4%
オ 電子書籍	5%
カ 講演会	8%
キ 展示コーナー	3%
ク 図書館活用講座	4%
ケ 調査相談	1%
コ 障害者サービス	3%
サ 情報発信	10%
シ ホームページ内容	1%
ス 施設設備	13%
セ その他	22%
記入なし	31%



*裏面白紙回答は、有効回答から除く。

*改善・充実すべき項目に○をつける方法で調査 (有効回答者数 708 人 回答数 1041 件)